

編集後記

人文学部金井准教授の博物館学実習の授業の教材として、石井鶴三関連資料より「玩具」「扇」「掛け軸」などの記録撮影を行いました。その中に鶴三の父親の鼎湖が書いた「房総の三賢人」という掛け軸がありました。2人は「日蓮」「伊能忠敬」と分かりましたが、もう1人がわかりません。川辺の船着き場と思われる場所に1人は座って作業をしている、もう1人は少し離れた場所で立っているという構図です。見るからに立っている人が賢人だと想像できるのですが、誰のどんな場面かわかりません。

いろいろ調べた結果、立っているのは佐倉惣五郎で、座っているのが漁師の甚平さんと言うことがわかりました。一揆の首謀者の佐倉惣五郎を、甚平さんが禁を破って印旛沼を舟で渡してあげるために、もやを切っている場面だそうです。彼を主人公とした歌舞伎「東山桜莊子」では、無くてはならない有名な場面との事でした。

一揆といえば多田加助しか思い出さないのですが、加助騒動（1686）の当時の松本藩は水野氏が藩主で、水野氏の前の藩主が堀田氏でした。堀田氏は松本藩から佐倉藩へ1642年に移り、佐倉一揆は1653年に起きています。そう言えば、平成中村座が松本市民劇場で2010年に演じたのが「佐倉義民伝」だった事を思い出しました。

信州大学中央図書館は、昨年3月に南棟の耐震改修が終わり、現在南棟の南に新棟を建設中で、今年3月に完成した後、図書の移動等を行い6月1日にリニューアルオープンになります。特別資料室1には小谷コレクション、特別資料室2には石井鶴三関連資料や松高絵画を保管できるようにするほか、学生が勉強しやすい工夫をしています。ご期待ください。

(折井)

編集委員

附属図書館長	笹本 正治
副館長	森 一郎
副館長補佐	岩波 峰子
副館長補佐	折井 匡
図書館専門職	石坂 憲司
構成	荻原 千代
Web	徳永 澄子